

大会要項

2024/8/28更新

1. 大会名称

エイワ杯 2024年度関東大学アイスホッケーリーグ戦

2. 主催

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟

3. 後援

公益財団法人日本アイスホッケー連盟 毎日新聞社

茨城県アイスホッケー連盟 神奈川県アイスホッケー連盟 埼玉県アイスホッケー連盟

千葉県アイスホッケー連盟 栃木県アイスホッケー連盟 山梨県アイスホッケー連盟

4. 特別協賛

株式会社エイワ

5. 期間

2024年9月1日(日)～12月22日(日)

6. 会場

ダイードリンクコアイスアリーナ 〒202-0021 東京都西東京市東伏見3-1-25

東大和スケートセンター 〒207-0022 東京都東大和市桜が丘 1-1330-19

7. 大会事務局

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟

〒202-0021 東京都西東京市東伏見3-1-25

TEL:042-467-8282 FAX:042-468-2131

8. 参加資格および登録

* 選手および役員は、2024年7月31日(水)までに(公財)日本アイスホッケー連盟登録完了済みであること(登録料支払い済みを原則とする)。

* 選手は、大学の在学証明を受けた者のみベンチ入りできる。休学中の試合出場は認めない。ただし、学生マネージャー・スタッフは、この限りではない。

* 選手・役員の追加登録

大会期間中、随時受け付ける。ただし、試合前日までに登録が完全に完了していない場合には、試合に出場できない。

* 追加登録の際は、変更点を色分けし、その都度、全員分の記載のある更新した参加申込書を提出する。

* 選手登録人数がゴールキーパー1名とスケーター5名に満たないチームは、今大会に限り参加資格を失う。

* 女子および大学院生は、試合への参加資格を持たない。

9. 参加チームおよびグループ分け

[2024年関東大学アイスホッケーランキング](別ページ参照)により、下記の通り、Divisionを分ける。

Division IA	1位から8位	8チーム
Division IB	9位から14位	6チーム
Division II	15位から20位	6チーム
Division III	21位から26位	6チーム
Division IV	27位から32位	6チーム
Division V	33位以下	8チーム

ただし、大会参加大学数によりグループ内チーム数に変動することがある。

※ リンク事情などにより、急遽試合日程の変更の可能性があることをご承知おきください。

10. 大会参加申込み

指定様式に入力し、**2024年7月31日(水)**までに下記宛先にEメールにて送信する。

申込書は必ずExcel形式で提出する。

送信先アドレス: univ@tihf.gr.jp

11. 大会費

- * 大会参加費 Division I~V 50,000円
- * 試合費 試合数に応じて、以下の通り負担する。
 - Division IA・IB 20分ピリオド 70,000円 × 試合数
 - Division II~V 15分ピリオド 60,000円 × 試合数
- * 支払期限 大会参加費 **2024年7月31日(水)まで**
試合費 **各チーム最終試合の前日まで**

* 振込口座

東京三協信用金庫 東伏見支店 (店番号016)

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟

普通預金

口座番号 100388

※必ず大学名(登録チーム名)で振り込むこと。

12. キャンセル規定

- * 参加申し込み後に辞退した場合、参加費および試合費は、予定されていた試合数分を支払うこと。
- * いかなる理由でも大会参加費の返金を行わない。
- * 原則、リンク枠のキャンセルは行わない。
- * 試合をチーム事情により棄権した場合、当該対戦チーム分の試合費を負担すること。
この際、対戦予定チームは、試合時間を利用して練習または練習試合を行うことが出来る。

13. 保険の加入

大会参加チームは傷害保険に加入し、保険証券または保険申込者(加入者)がわかる明細のコピーを連盟事務局に提出する。

- * 提出期限 **2024年8月31日(土)**

14. 表彰

チーム表彰 すべてのDivisionの1位~3位チームを表彰する。

個人表彰 すべてのDivisionより、最優秀選手賞1名、最多ポイント賞を選出し、表彰する。

Division Iより、ベスト6を選出し、表彰する。

Division IA上位2チームは、「第91回全日本アイスホッケー選手権大会(A)」への出場権を得る。

ただし、(公財)日本アイスホッケー連盟により、関東大学アイスホッケーリーグ戦に与えられる出場枠数が変更された場合、この限りではない。

15. 表彰式

Division IAのみ表彰式を行う。(Division II以下は、順位が確定した段階で試合後に行う場合がある)

1位~3位の表彰チームおよび個人表彰対象の選手は、全員参加すること。

スケート、ユニフォーム、部旗を持参する。

16. 入場料

一般 1,000円 高校生・中学生・小学生 500円

※ ガイドードリンコアイスアリーナの試合のみ、入場口にて当日券のみ販売。

17. 試合映像撮影・配信

- * 本大会では、試合の映像撮影およびその映像配信を行うことがある。
本大会に参加する全ての選手、スタッフ、競技役員等は、本大会参加中の肖像の管理を（公財）東京都アイスホッケー連盟に委ねることを本大会参加をもって承諾したこととする。
- * AIカメラ（（公財）日本アイスホッケー連盟）による動画配信について：
本大会における試合のテレビ・ラジオ放送権、インターネットその他一切の公衆送信を行う権利（公衆送信権）は、（公財）日本アイスホッケー連盟に帰属することとし、公衆送信権を（公財）東京都アイスホッケー連盟に許諾することがある。

18. その他

- * 大会期間中、選手・スタッフ・関係者すべての施設内入場は、IDを所持している者のみとする。
IDは常に見えるように、首からかける。
- * 大会期間中であっても、リンク事情などによる
日程変更・対戦方式の変更、特別な条項が追加される可能性があることをご承知おきください。
- * 9、10月の東大和スケートセンターでの試合は無観客試合となります。

競技要項

2024/8/28更新

1. 競技方法

リーグ戦 [対戦方式](別ページ参照)によるリーグ戦およびトーナメント戦(Division V)を行う。

- * 対戦表の左側を仮ホームチームとし、本部席から向かって左側のベンチに入る。
- * 試合でのホームチーム、ビジターチームは、試合前のパックスにて決定する。
その際、仮ホームチームがパックの表裏を選択できるものとする。

2. 競技時間

- * 練習終了後、整氷を行う。
- * 練習および試合は、前の試合が終わり次第、順次時間を繰り上げて開始する(最大30分)。

【Division IA/IB】 練習 7分 正味 20分 × 3ピリオド ピリオド間インターバル 約10分(整氷)

【Division II～V】 練習 7分 正味 15分 × 3ピリオド 1P-2P間インターバル 5分
2P-3P間 約10分(整氷)

【Division IB下位2チームとDivision II上位2チームによるファイナルリーグ】

練習 7分 正味 20分 × 3ピリオド ピリオド間インターバル 約10分(整氷)

【ランニングタイム:共通】

- * 各グループの試合で、7点以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ以降はランニングタイムとする。
- ① 点差が縮まった場合でもランニングタイムは継続する。
- ② 次の場合は時計を一旦止める。(次のフェイスオフでパックがドロップされた後スタートする)
 - a) 得点時
 - b) ペナルティ発生時
 - c) タイムアウト
 - d) オフィシャルタイムアウト(怪我・乱闘などにより時計を止めた方が良いと判断した時)
 - e) 第3ピリオド終了残り2分以降
- ③ ペナルティ時間終了時にプレーが止まっていた場合、ペナルティボックス内の選手は次のフェイスオフでパックがドロップされるまでペナルティボックス内から出てはならない。

【同点の場合:共通】

- ・ 第3ピリオド終了時、同点の場合、両チーム5名ずつのペナルティ・ショット・シュートアウト(以下PSS)により勝敗を決定する。このとき、各チームのゴールキーパーは第3ピリオドと同じサイドを守る。
ただし、レフェリーが氷面を確認し、両サイドを利用することがどちらかのチームに不利になると判断した場合には、レフェリーが使用するサイドを決定する。
 - ・ さらに同点の場合はサドンデス方式による両チーム1名ずつのPSSにより勝敗を決定する。
- * PSSの先攻・後攻の選択権は、パックスにおいて決定する。
 - * ファイナルリーグ:今大会は、リンク事情により実施しない

3. 順位決定方法

勝ち点を以下の通りとする。

	レギュレーション タイム勝ち	PSS 勝ち	PSS 負け	レギュレーション タイム負け
勝ち点	3	2	1	0

順位決定は以下の通りとする。

* Division IのファーストリーグおよびDivision II以下

- ① 勝ち点の大なるもの
- ② 当該校の対戦成績の勝ち点の大なるもの
- ③ 当該校同士の試合の得失点差の大なるもの
- ④ 当該校同士の試合の得点の大なるもの
- ⑤ 全試合の得失点差の大なるもの
- ⑥ 全試合の得点の大なるもの
- ⑦ 前年度ランキング上位のもの

* Division IAのセカンドリーグ（ファーストリーグを含む）

- ① 勝ち点の大なるもの
- ② 当該校の対戦成績の勝ち点の大なるもの
- ③ 当該校同士の試合の得失点差の大なるもの
- ④ 当該校同士の試合の得点の大なるもの
- ⑤ 全試合の得失点差の大なるもの
- ⑥ 全試合の得点の大なるもの
- ⑦ ファーストリーグ上位のもの

* Division IBのセカンドリーグ（セカンドリーグのみを対象とする）

- ① 勝ち点の大なるもの
- ② 当該校の対戦成績の勝ち点の大なるもの
- ③ 当該校同士の試合の得失点差の大なるもの
- ④ 当該校同士の試合の得点の大なるもの
- ⑤ 全試合の得失点差の大なるもの
- ⑥ 全試合の得点の大なるもの
- ⑦ 前年度ランキング上位のもの

4. 競技規則

（公財）東京都アイスホッケー連盟の定めるローカルルールを除いては、原則として、国際アイスホッケー連盟の定めるアイスホッケー公式国際競技規則、ならびに（公財）日本アイスホッケー連盟の定めるルールによるものとする。

5. 補助規則（東京都アイスホッケー連盟が定めるローカルルール）

- 1) 連盟未登録選手が出場した場合、その試合に限り没収試合とし、不戦敗（スコアは0対15）とする。
- 2) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。
オールメンバー表に記載されていないスタッフはベンチ入りできない。
- 3) プレーヤーはバイザーまたはフルフェイス・マスクの付いたヘルメットを着用しなければならない。
顎紐と顎の間のゆとりは指1本分のみとする。バイザーは鼻が全て覆われるものなければならない。
プレーヤーは試合前の練習中、ベンチ内、ペナルティボックス内にいるときも、ヘルメットを正しく着用していなければならない。

- 4) チームのすべてのプレイヤーは、同じユニフォーム、パンツ、ストッキング、ヘルメットを着用しなければならない。
- 5) プレイヤーはマウスガードを着用しなければならない(試合中の不正な着用は警告なしにミスコンダクト・ペナルティを科す)。
- 6) 危険な用具を着用している選手は試合に出場できない。
試合前の整列時にレフェリーが両チームのプレイヤーの用具着用状態を確認する。
試合中、正しく防具を着用していないプレイヤーに対しては、警告なしにミスコンダクト・ペナルティを科す。
「お守り」は防具の内側に縫い付ける。それ以外のアクセサリー等の着用は認めない。
なお、これは相手チームからのアピールでは受け付けず、レフェリーの判断によるものとする。
- 7) グローブ、ヘルメット以外の用具は完全にユニホームの下に着用し、ユニフォームはパンツから必ず出す。
タイダウンストラップで密着させなければならない。
試合中、ベンチから氷上に出る際、ユニフォームがパンツから出ているか、選手スタッフ間で確認する。
- 8) ストッキング上のテープは透明がよい。ストッキングのデザインと違う色のテープにより、色をまたいでテープを巻く場合(クロスさせる等)は、透明のテープのみ使用できる。ベルクロタイプのバンドも同様とする。
- 9) 2004年1月1日以降に生まれた選手は、ネックガード、イヤガード、フルフェイスマスクを着用しなければならない。
該当する選手は、オールメンバー表のチェック欄に記入して提出する。
関東大学リーグにおいては、全選手ネックガード・イヤガード・フルフェイスマスクの着用を義務化する。
(2025年4月以降、全選手に対して完全義務化予定)
- 10) 練習中、ゲーム・スーパーバイザー(GSV)がヘルメットやストッキング等の防具を正しく着用しているか確認し、是正させることがある。
- 11) 試合の際に役員(監督、コーチ等)のうち1名は必ずベンチ入りする。役員はIDを着用しなければベンチ入りできない。役員不在の場合は試合放棄とし、不戦敗(スコアは0対15)とする。
役員とは「大会要項 8」のチーム役員登録された者を指す。
※学生は役員として登録することはできない。
- 12) ベンチにはゴールキーパー2名、プレイヤー20名の計22名、役員6名まで入れる。
外国籍を有する選手は3名以内とする。
- 13) タイムアウトは全試合、各チーム1回使用できる。
- 14) オールメンバー表、オフィシャル担当表は当連盟所定の用紙に記載し、試合(オフィシャル当番)の当日、入場時(練習開始1時間前)に提出する。
- 15) 試合当日(試合開始時)、試合を遂行するのに必要な最低人数(ゴールキーパー1名とスケーター5名)に満たないチームは、その試合を放棄したものとみなし、不戦敗(スコアは0対15)とする。
- 16) 仮ホームチームはユニフォームの色を選択できる。ただし、対戦する両チームのユニフォームが同系色の場合は、原則、仮ホームチームがユニフォームを変えなければならない。
基本は、仮ホームが色系、ビジターが白系を着用する。チーム間の協議が整えばこの限りではないが、必ず事前にレフェリーおよびGSVの許可を得る。
- 17) 練習後・ピリオド終了時・試合終了後など、両チームが同一通路を使用して控室に戻る場合、両チームが同時に移動しないよう、出入口に近いベンチのチームから先に速やかに氷上より退場する。
なお、後のチーム(氷上にいる選手)は、一度自チームのベンチに戻り、レフェリーの指示により退場する。先のチームが故意に退場を遅らせたり、後のチームが故意に自チームベンチに戻らない場合は、ベンチ・マイナー・ペナルティ を科す。

18) ベンチドアマンの取り扱い

- ① 当日の試合に出場しないが選手登録されている学生2名以内をベンチドアマンとして置くことができる。この場合、オールメンバー表のスタッフ欄に記載する。ただし、役員6名には含まれない。
- ② ベンチドアマンは、危険防止のためフルフェイスマスクの付いたヘルメットの着用を義務付ける。試合前の整列時に、レフェリーがベンチドアマンの用具着用状態を確認し、正しく装備していない場合、その試合のベンチ入りを認めない。この場合、ペナルティ(ベンチ・マイナー)は科せられない。

19) 試合中、ベンチ内での写真・動画撮影は禁止する。コーチングの目的にのみ、電子機器の使用を認める。

20) ベンチ入りする学生スタッフ(マネージャー、トレーナー等)は危険防止のため、フルフェイスマスクの付いたヘルメットの着用を義務付ける。レフェリーが規定に違反している学生を発見した場合、該当者をベンチから退場させる。ただし、ペナルティ(ベンチ・マイナー)は科せられない。ベンチに入るスタッフ・トレーナー・マネージャー等は、ユニフォームを着用してはならない。

21) 第2ピリオド、第3ピリオド開始時は、ファーストセットのみ氷上に上がる。

22) 申請した登録と試合当日の背番号に変更がある際は、オールメンバー表提出時、競技役員(大会運営委員長、GSV、スコアラー等)に報告する。

23) ユニフォームの名前を隠す際は、同系色の布を縫い付ける(テープ使用は不可)。

6. 試合中の負傷

試合中に選手が負傷した場合は、当連盟所定のフォームに記載し、事務局宛てにメール送信する。試合中に起こった傷害に関して応急処置は行うが、その後は各チームおよび個人の責任とする。観客も同様とする。

注意事項

- * 事前の連絡なく、代表者会議、オフィシャルクリニック、表彰式、試合、オフィシャル当番を遅刻、欠席、棄権した場合、また連盟の規約に違反した場合、JIHFリスペクト憲章に反する行為をした場合は、学生事業委員会ならびに審議委員会にて協議し、処分を科す。
- * 試合前練習の際、終了ブザー後にシュートを打った選手は、その試合の出場資格を失う。
- * ペナルティベンチ内では、ペナルティ終了30秒前まで座っていること。味方への応援を含む一切の私語を禁止する(上記については、レフェリー以外が別途処分を科すことがある)。
- * 試合時のツバ吐き行為は、いかなる理由があってもゲーム・ミスコンダクト・ペナルティ を科す。一旦口に入れた水等を吐き出す行為もツバを吐く行為と同様にみなす。
- * 大会期間中、控室のシャワー利用を禁止する。
- * 原則として、試合終了後30分以内に退場する。

<緊急連絡先>

第1連絡先 大会運営委員長 横川 将也(学生事業委員長)

第2連絡先 大会運営副委員長 内山 邦也(学生事業副委員長)